



教育目標 たくましく生き抜く力と豊かな人間性の育成

学校だよりふれあい

令和5年
9月27日
発行

令和5年度学校祭

～きらめけ! 東中星! ~ 私たちが輝くこの場所で～



シンボルテーマ作: 2B 小沼 彩葉・1A 鈴木 聖央
シンボルマーク作: 3A 猪股 菜那

9月9日(土)、4年ぶりに地域・保護者の皆様へ全面公開とするかたちで第59回学校祭が開催されました。今年は「～きらめけ! 東中星! ~ 私たちが輝くこの場所で～」のテーマのもと、生徒一人一人が、集団への所属感や連帯感を深め、学校や学級文化の創造に寄与しました。特に、切磋琢磨する体験を通して、達成感や意欲を高め、向上心を身に付けたり、自他を理解する力と解決する力、表現力を身に付けたりし、文化的行事を通して人として生きる実践力を磨くこととなったのではないかと考えます。

保護者の方々におかれましては、お忙しい中ご来校いただきありがとうございました。また、アンケートフォームへのご回答にご協力いただくとともに、生徒の頑張りを励ますあたたかいお言葉を多くいただき衷心より感謝申し上げます。以下に一部をご紹介します。

【保護者回答から】

- ・心から楽しませてもらいました。子どもたちが一生懸命に練習してる姿が目につきました。先生方も子どもと同じくらい楽しんで、細やかに動いてくださって、こんな素敵な学校で生活できる事に感謝です。本当に楽しかったです。そして最高に可愛い子ども達でした。
- ・合唱はクラスごとの色がしっかり出ていたように思います。きつどのクラスもたくさん練習したのでしょうか! 学年が上がるごとにさすがと言える歌声で素晴らしかったです。最優秀賞を取った3年生のクラスは難しい曲を選んでいたと思いますが、声量とハモリなど聞き応えがありました。また開会式や発表、開会式等々楽しさと子ども達が自分達で作り上げてきた時間などが感じられ、見ていてとても楽しかったです。掲示されているたくさんの作品からは、個性が溢れている作品もすばらしかったです! 一人一人がすごい才能を持っているな～と思いました。
- ・文化部のマリオがよくできていました。運動部と違い、達成感が得にくい部活動だと思うので、チームで作品を作り上げる事は良い経験になったと思います。生徒たちがひしめき合い、「文化部頑張ったな」との声が聞こえました。部員にとってはとても嬉しい瞬間だったのではないのでしょうか。これからも自分達の活動に自信を持って挑戦してください。
- ・最高に楽しい学校祭でした! 盛り上げ上手です! それぞれの個性が爆発してました! 3年生は特に素晴らしく、他学年を巻き込んで記憶に残る素敵な学校祭が作れていたと思います! 裏方や、文化部、見えない所で頑張っていたみんなの想いよく表れていましたよ!

この他、皆様からいただきました貴重な意見につきましては、次年度への改善に向け参考にさせていただきます。今後とも本校の教育活動の推進に向け、お力添えいただきますようよろしくお願いいたします。



《ベスト指揮者賞》

1年A組 善志 優空
2年B組 城岡 優希
3年B組 河崎 陽

《ベスト伴奏者賞》

1年C組 江口 真央
2年A組 旭田 茉央
3年A組 湯畑蔵之丞



TOPIC



生徒会立会演説会

9月15日（金）、後期生徒会役員立候補者の立会演説会が行われました。前期生徒会役員の志を引き継ぎ、よりよい学校生活を創るため、各立候補者が、目指す学校像や具体的な取組等のマニフェストを堂々と述べました。



今回は立候補者全員が信任となりました。皆さんのパワフルな活躍を期待しています。

～教育実習が終了しました～

9月22日（金）に4週間の実習期間を終えた3名の教育実習生。教科指導を中心に生徒との関わりを深め、将来の教師像を明確にしたことと思います。離任の挨拶では、学校や生徒に対する感謝の思いと将来への決意を述べていました。



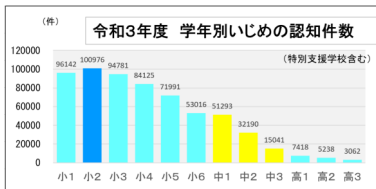
10月～行事予定～

- 1日（日） 開校記念日・ヨネックス杯新人バドミントン大会・サッカーサテライトリーグ
- 3日（火） 中部地区研究大会（午前・給食有）
- 4日（水） 後期役員認証式・常任委員会
- 5日（木） 職員会議・英検IBAアンケート
- 6日（金） 英語検定②
- 7日（土） ナナカマドの実フェス（サッカー）～9日・14日・15日・21日・22日
- 8日（日） 中体連全道駅伝大会（新得町）
- 10日（火） 常任委員会
- 12日（木） 3年学力テスト（総合B）
- 13日（金） 授業公開日・生徒総会
- 14日（土） 富良野沿線新人大会（バスケ）～15日
- 15日（日） 吹奏楽部定期演奏会
- 16日（月） 教育相談～23日
通級保護者面談～23日
- 17日（火） 1学年職場訪問学習
- 19日（木） 12歳のハローワーク
- 21日（土） 中央地区新人戦ソフトテニス（当麻）・上川南部地区バドミントン（鷹栖）・旭川地区新人バスケ22日・28日
- 23日（月） ケース会議
- 24日（火） 校内研修
- 25日（水） 3年期末テスト①
- 26日（木） 3年期末テスト②
- 貯金日・校内点検日
- 28日（土） 児童生徒作品展～29日・U18リーグ（サッカー）・北海道中学校選抜卓球大会（鷹栖）

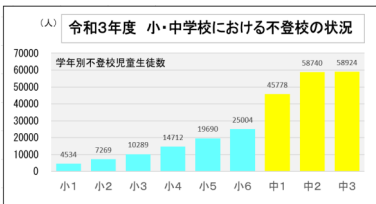
～中1ギャップ問題について

「中1ギャップ」という用語は、毎年行われる「問題行動等調査」の結果から「小6から中1でいじめや不登校の数が急増する」ように見えることから使われ始めたものです。現在では、メディアが学校間の接続の問題全般を論じる際に耳にすることが多いかと思われます。

この用語の、「ギャップ」という語感から、中1になると学校制度の違いという外的要因を発端として突然大きな変化が起きるかのよう捉えられがちですが、実は、その前提とされている事実の認識（いじめ・不登校の急増）は客観的事実とは言い切れない現状にあります。



グラフ上に示したように、いじめの被害経験率は小学校の方が高いと言えます。中学校でいじめが急増するという印象は、あくまでも各学校の「認知件数」の差を比較した場合の話です。不登校は、グラフ下に示したように明らかな増加が見られますが、実は、中1の不登校生徒の75パーセント以上が小4～小6のいずれかの学年で15日以上欠席経験を持っていることが明らかとなり、中学校段階で問題が顕在化する傾向にあると捉えることができます。



東神楽町ではこれらの実態を踏まえ、環境変化の対応が苦手の児童・生徒に配慮しつつ、不登校やいじめという共通の課題を共有しながら校区内の小中連携を強化しています。今後も保護者の皆様や地域の方々のご協力のもと教職員がスクラムを組み「ギャップを作り出さず、ギャップを埋める」取組を推進していきます。

※部活動の大会詳細（会場・時間等）につきましては、学校（83-2413）にお問い合わせ願います。